**Iサムエル20:30-34　伝道者の苦難**

必要を満たすと神様が言われたので、アーメンと言って受けて信じよう。契約として、信じてそのようになるように祈ろう。

伝道者の道をまっとうするために与えられる苦難なので、契約を堅く握ってその道を歩もう。

ダビデは苦難を感謝で

しめくくった。

自分に問いかけよう

苦難の住所は？

　神様に会っていない、

　人生の主題が伝道で

　　ないからか、

　すべてをささげたのに

　　来たのか

契約を私の人生の主題と

　しよう。

苦難は、契約をいのちより

　大事と思うべきと告白

　しよう。

　初代教会の信徒の告白

「神様、いのちをかけて

　福音を伝えます。

　契約ゆえに鞭うちに

　ふさわしいと認められ

て感謝します」

伝道者の苦難の前で

　この告白をしよう。

「契約をいのちより大事に思う、残りの人生となりますように」

**苦難を通して**

**契約をもう一度、固く握ろう**

契約とは･･･

１．世の中、世界に必要なこと<光>

1)世の中が暗やみに覆われている

　ことを見るべき

2)世のならわしを作って人を

　追い込む

　神ない、必要ない、努力すればよい

　発展するとユートピア作れる

　未来に希望を持って生きよう

3)戦争、災いが続く

なぜ、大学に行き、働き、子育てを

　するのか・・・なにが必要か

　それが契約

２．日本に必要なこと

　　　　＜福音を伝える教会＞

　1)偶像に染まり、人間主義が

　　骨まで沁みている。

　　それゆえ、災いに出会っている

　　どれほど良くできても、防げない

　2)クリスチャンの現状

　　クリスチャンの割合低い

　　教会がない。良い会社があるのに

　教会があるべき（契約）

3)既存教会の現状

　崩れていて、牧師がいない

行く人を作る、送るために祈るべき

（それが契約）

47都道府県に光を持った霊的な

　ネットワークを作ることができる

ように。伝道者を送る

（契約を疑わず信じて祈ろう＝集中）

　この契約のために苦難がある

　契約にいのちをかけるように

３．現場の必要<キリストの福音のみ>

　1)人々は６つの状態に陥っている

　2)答えがわからずさまよい、

　　間違った答えを求めていく

　3)できないから落胆している

**伝道者の苦難は受け入れる姿勢が必要**

1．理屈に合わない

　1)論理、理屈には合わない

　2)法律と合わない

　3)常識とも合わない

ダビデがヨナタンと話して

いったいどんなことをしたのかと

言った。まちがって苦難にあったの

ではない。理屈でいうと、苦難に

会う理由はない。

２．まわりの人も認める

　1)ヨナタンは弁護してくれる

　2)なぐさめることあり

　3)励ましてくれることもあり

　しかし、苦難は避けられない。

　ヨナタンがサウルに話をしたら、

　　サウルはヨナタンを殺そうとした

　　ヨナタンは矢を射って、ダビデは

　　逃亡者の生活を送った。

どうして、なんで、こんなことが起きるのかと言っても、他の人が助けてくれても、苦難はなくならない。苦難の道を歩むしかない。

３．神様が許されたことだから

　それゆえ、受け入れるのみ

　苦難の道の理由は１つのみ

1)契約がどれほど重要か

　契約のゆえに間違いもないのに

苦難がある。契約のゆえに必要。

2)契約を成し遂げるため、伝道者を

　苦難という神学校に入れられた。

　それゆえ、卒業しないといけない

3)契約の主題が心に釘づけられるため

　伝道は行事ではない。人生の理由

4)伝道者の器を整え、作られる

契約がどれほど大切か刻もう

伝道者の苦難、受け入れ、感謝して

　その道を歩もう

**苦難の種類**

１．未信者にある苦難の理由

1)原罪という根本問題ゆえに

2)原罪ゆえにのろい

3)しかし、本当の理由は

神様に出会って永遠のいのちを

得るために許されること

２．信徒にある苦難の理由

　1)まだOnlyになっていないゆえ

　　口で言うことではなく、それまで

頼って、影響を受けていたこと

すべてから自由になるべき

　2)なぜonlyにならないのか

　　他のこと、まちがったことが

　　刻印されているから

　　その一つが因果応報

　－創世記3章6章11章で刻印

　　　神様がいない私

神様がいないお金

神様がいない成功

　Onlyになりなさいと、苦難を

　　許される（神様の配慮）

　3)実際の目的は、神様が

　　いやそうとされていること

　いやされると、生きる理由は

　　伝道ゆえ、となる

神様の契約のためにこの世にいる

　　人生の理由は、神の国、となる

　　その結論が出るようにされる

　　（いやしの目標）

３．伝道者の道を歩む者の苦難

　1)サタンの策略ゆえ

　2)神様が許されたから起きる

　3)伝道者の道を正しく歩むことが

　　できるように、

　　伝道者の契約を成就するための

　　過程

霊的事実を根拠にして

　事実から自由になろう

（1部礼拝参照）

因果応報のサタンの法則は

　イエス・キリストで崩れる

それを知らないようにさせる

　サタンの策略がある

それゆえ、私は私の道

「契約の道」を歩こう

そうすれば、

　神様の勝利を味わう

そのあと、

苦難の人生が始まる

　（混乱しないように）